

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

北朝鮮での携帯電話端末数70万台突破

『朝鮮新報』によれば、2008年12月に開始された北朝鮮の第3世代携帯電話の加入端末数が、2011年7月末現在で70万台を突破した。端末価格の相場は日本円で約2万5,000円とのことだ。平壤等で運営されている「Koryo Link」の場合、月の定額料金で200分相当の無料通話が含まれるという。筆者が携帯電話利用者に尋ねたところ、基本料金は国内通貨建てだが、それを超過すると外貨建てのプリペイドカードを購入して通話料金をチャージしないと行かないため、事業目的で使う場合以外は、通話時間の管理に気を遣うのだそうだ。

崔永林総理の中国訪問

『朝鮮中央通信』によれば、2011年9月26日～30日、北朝鮮の崔永林総理が中国を公式訪問した。中国の『人民網』『新華網』等によれば、今回の訪中は、北京市、上海市、江蘇省であり、26日に温家宝総理と会談し、27日に胡錦濤国家主席と会見したのち、29日～30日には江蘇省を訪問した。江蘇省では雨潤集団（食品等）、中電パンダ（電器）、中能智谷電網科技（スマートグリッド開発）等を訪問した。江蘇省長との会談では江蘇省の経済を「軽工業と重工業が強調して発展している」と評価しつつ、「江蘇省が江原道との有効省道関係をより一層強化」することを希望したと発言したとのことだ。また、江蘇省長の李学勇は、2010年の江蘇省と北朝鮮との貿易額が5,500万ドルに達し、2011年の上半期には貿易額が前年同期の実績を超過しているとの、6,000万ドルに達するだろうと発言したとのことだ。

金正日総書記、端川マグネシア工場を視察

2011年10月3日発『朝鮮中央通信』によれば、金正日総書記が端川港建設現場と端川マグネシア工場を訪問した。

端川港は、検徳、端川地区で生産する鉛、亜鉛とマグネシアクリンカー、軽焼マグネシアを輸出するための港として建設されている。また、端川マグネシア工場は有名なマグネシアクリンカーの生産拠点であるが、輸入燃料への依存を脱し、国内燃料を使った生産システムを確立したと報じられている。

平壤への10万世帯住宅建設へ大学生も動員

『朝鮮新報』によれば、現在北朝鮮で積極的に繰り広げ

られているという平壤市内への10万世帯分の住宅建設に、朝鮮人民軍の兵士だけでなく、大学生も組織的に動員されているとのことだ。大学によっては一部授業がストップしたり、2011年度の卒業式を遅らせる措置もとられたりしているとのこと。

第7回平壤秋季国際商品展覧会

『朝鮮新報』によれば、2011年10月17日～20日、平壤の3大革命展示館で第7回平壤秋季国際商品展覧会が開催された。今回は、北朝鮮と中国、マレーシア、インド、オランダ、ドイツ、ベルギー、スイス、スウェーデン、オーストリア、イタリア、イギリス、チェコ、フランス、ポーランド、オーストラリア、中国台湾の17の国と地域から、262の企業や団体（国内73、海外189）が参加した。

今回の展覧会の特徴は、大型トラックや建材機材、資材などを扱う建設関係業者が急増したとのことだ。また、展覧会に参加した外国企業の半分以上は中国の業者で、丹東、大連、瀋陽、長春、延辺、図們など、東北3省の企業名が目立ったとのことであった。

北朝鮮とロシア・アムール州貿易経済に関する合意書を調印

『朝鮮新報』によれば、ロシア・アムール州のオレク・コジュミャコ知事一行が2011年10月17日～21日、北朝鮮を訪問した。10月20日には金正日総書記と会見した。今回の訪問中、経済協力に関する実務会談が行われ、北朝鮮側から李竜男貿易省、電力工業省のキム・マンズ第1次官が参加し、北朝鮮の貿易省とアムール州の間の貿易経済強調に関する合意書が調印された。

中国の李克強副首相、北朝鮮訪問

『朝鮮中央通信』によれば、2011年10月23日～25日、中国共産党中央委員会政治局常務委員会委員、国務院副首相の李克強氏が北朝鮮を公式訪問した。24日には金正日総書記と会見し、その席上「中朝首脳間で成し遂げられた広範な合意を誠実に履行し、戦略的な次元と未来を展望する角度から中朝関係を捉え、伝統継承、未来志向、善隣友好、協調強化の精神を堅持することで、伝統的な中朝親善を発展させていくことが中国の党と政府の確固たる方針だ」と述べた。

（ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘）